

# 社会資本総合整備計画 事後評価

(第2期)

ひなんち避難地の<sup>そうしゅつ</sup>創出による<sup>あんぜん</sup>安全・<sup>あんしん</sup>安心な<sup>とし</sup>都市づくりの<sup>すいしん</sup>推進(防<sup>ぼうさい</sup>災・<sup>あんぜん</sup>安全)  
れいわ令和<sup>ねんど</sup>2年度～れいわ令和<sup>ねんど</sup>3年度

おおいたけん大分県 ひじまち日出町

令和4年4月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年04月19日

計画の名称	(第2期) 避難地の創出による安全・安心な都市づくりの推進 (防災・安全)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和03年度 (2年間)					重点配分対象の該当							
交付対象	日出町												
計画の目標	都市公園には広場などのオープンスペースや運動施設、緑地などがあり、避難地、防災拠点、樹木帯による延焼防止など防災としての機能を発揮する。 都市公園の整備により、災害時における防災拠点となるオープンスペースを確保し、都市における防災環境の充実を図る。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	48	A	48	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R30年度		R3年度
1	本計画で整備する公園の避難圏域人口に対する10人あたり都市公園面積を8 (㎡/10人) (H31年3月) から31 (㎡/10人) (R8年3月) に増加 (その他避難施設への避難人口を除く。) させるために整備を継続的にを進める。 (区域内都市公園面積+豊岡公園整備面積) ÷ (避難圏域人口)	8 (㎡/10人)	(㎡/10人)	8 (㎡/10人)

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---



事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 日出町 都市建設課にて職員が実施。計画に対する事業の進捗と目標を確認し、今後の整備計画を検討した。	事後評価の実施時期 本計画終了後（R4年4月）
	公表の方法 日出町ホームページへの掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本計画における事業（都市公園整備）は本計画期間中での供用開始にしておらず、現状では災害時に避難可能な都市公園の増加という目標に対し、効果の発現に到っていない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

本計画期間での公園の供用開始に到らなかったため、引き続き新たな整備計画（国土強靱化計画と関連した重点計画）を策定し本事業を継続して進めることで、供用開始と目標達成を目指す。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	8 (㎡/10人)
	最終実績値	8 (㎡/10人)